

1-3	<p style="text-align: center;">正しいかどうか聞く (名詞-真偽疑問文)</p> <p>(「あの(方)は本田さんですか」「はい、本田さんです/いいえ、本田さんじゃ(では)ありません」)</p>
基本文型	<p>N_1はN_2ですか</p> <p>はい、N_2です / いいえ、N_2じゃありません</p> <p>N_1=あなた、彼、彼女、こちら、あの方、その人・・・</p> <p>N_2=名前、職業、身分、国籍</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語尾に「か」をつけてその情報が正しいかどうかを聞くことができる。語尾のイントネーションが上がる。 2. 答えるときは「はい、Nです。」「いいえ、Nじゃ(では)ありません」で答える。 (「はい、そうです」「いいえ、違います」という答え方もある。) 3. 相手の名前がわからない場合は、相手に「失礼ですが、お名前は」と聞く。 <p>【教える時のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問文には「真偽疑問文=はい/いいえ で答えられる疑問文」と「疑問詞疑問文=何、どこなどの疑問詞が入る疑問文」があるが、通常、真偽疑問文の方が答えやすいので、真偽疑問文の方から練習する。 ・ 「Nさんは どなたですか」も学習者によって提示してもよい。 ・ 「いいえ」で答えるときに「いいえ、じゃありません」と、名詞を言い忘れることがあるので注意。
例文	<p><例 文></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A: あの方は本田さんですか。 B: はい、本田さんです。 2. A: その人(方)は会社員ですか。 B: いいえ、会社員じゃありません。 3. A: 彼女はアメリカ人ですか。 B: はい、そうです。 4. A: あなたは学生ですか。 B: いいえ、違います。
場面	